

様式第7号（第21条関係）

AAR発番 25078号

令和7年 6月24日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都品川区上大崎2丁目12番2号 ミズビル7階
団 体 名 特定非営利活動法人 難民を助ける会
代表者職・氏名 理事長 堀江 良彰
電 話 番 号 03-5423-4511

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 難民を助ける会
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

県内の小・中学校、児童クラブや子どもの居場所等、県民が関与する教育機関等において、グローバル人材育成の観点から、国際社会の課題（難民・国内避難民、地雷・不発弾、感染症、障がい者支援、災害支援等のグローバル・イシュー）について出前講座および活動報告会を開催する。併せて、広く一般市民を対象にしたイベントに出展し、当会の支援事業内容等を知ってもらうことで、共生社会の醸成を図る。

また、支援事業として、国内外での難民支援や感染症対策、災害支援等に関連した業務を行う。特に、県内の難民支援として実施する、母国で安全な生活を送れない人が佐賀県内に一時滞在するための環境整備は、県民含め誰もが住みやすい社会を形成することにつながる。また、災害対応やそのための準備を進めることによって、佐賀県民の減災・防災力を高めることになる。さらに、海外での支援事業は、上記の国際理解教育において現代のグローバル・イシューを扱うために重要なテーマになり、学習者の当事者性を高めることができる。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

700名を超える一般市民・児童・生徒に、国際社会の諸課題（紛争、難民問題、地雷問題、感染症対策、水・衛生対策、災害被災者支援等）について、現状と課題を理解し考える機会を提供できた。グローバル人材としての成長を目指す動機付けとなった。

県民の間で異文化に対する理解が向上し、国際感覚が醸成されることで、県内における多文化共生社会の担い手の育成に寄与できた。

また、県内2か所で防災講座を行い、有事の際に役立つ自助能力と冷静な対応力の習得につなげることができた。

ウクライナ国外に退避せざるを得ない人々が、佐賀県を拠点に安心して暮らせるよう、佐賀県庁をはじめ行政機関や多様なCSOと協力し、体制を整備した。引き続き、避難者と県民とが共生していく社会の実現を目指す。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

ミャンマーからバングラデシュへ逃れて、難民キャンプで生活する等困難な状況にある人々の支援を行った。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 (①目的②対象者③実施内容)	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位:円]	うち寄附金 活用額 [単位:円]
①出前講座及び講演	①グローバル人材育成 ②児童・学生 (のべ人数521名) ③国際社会の課題について出前講座および活動報告会を開催	①5/29 ②佐賀市内 民間学童 ①7/16 ②佐賀県立武雄青陵中学校 ①7/19 ②唐津市立七山小中学校 ①8/9 ②佐賀市内 高木瀬小学童 ①9/19・10/10・10/31 ②武雄看護リハビリテーション学校 ①12/17 ②佐賀市立新栄小学校 ①1/7 ②佐賀市内 兵庫小学童	1,820,740	909,455
②イベント出展等	①共生社会の醸成 ②一般市民 (のべ人数235名) ③イベント出展や、ラジオやテレビ等のメディア出演・寄稿等で活動内容を知ってもらう	①5/31～6/6 ②シアター・シエマ ①7/5～11 ②シアター・シエマ ①7/16～28 ②市民活動プラザ1階廊下 ①7/28 ②市民活動プラザ7階 ①8/9 ②シアター・シエマ ①10/1～10②市民活動プラザ1階廊下 ①10/15～3/19 ②佐賀東信用組合各支店 ①10/31②インターナショナルパルーンフェスタ ①11/12～12/17②エスブラッツロビー ①11/24 ②どんどんの森 ①12/2～8 ②シアター・シエマ ①2/5～8 ②佐賀県庁 ①2/9 ②メートプラザ ①3/23 ②名護屋城跡	4,021,733	1,000,000
③災害支援等	①災害に対する準備 ②佐賀県における被災者 (災害がなかったため対象者無) ③佐賀災害プラットフォームへの参加	①月に一度 ②月例情報共有会議議事録確認	0	0
④ウクライナ避難民受入	①佐賀県に滞在するウクライナ避難民の支援 ②ウクライナ避難民約20名 ③佐賀ウクライナひまわりプロジェクトへの参加	①月例情報共有会議への参加・避難者宿舎の整備など参加 ②佐賀市	51,000	30,000
⑤海外での支援業務	Bangladesh Rohingya 難民支援 ① Bangladesh における Rohingya 難民支援 ② Rohingya 難民・受け入れる立場となる Bangladesh の地域住民 ③ 子どもや女性のための施設運営	①2024年4月～2025年3月 ② Bangladesh Rohingya 難民キャンプ	3,149,400	3,149,400
GCF:来る前に備える 真の防災能力アップ	①佐賀県における防災能力の向上 ②一般市民 (43名) ③防災講座の開催・防災用品の配布等	①6/14 ②ライフデザイン ①6/15 ②居場所そら	276,037	275,400
計			9,318,910	5,364,255

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		9,560,645
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	9,285,245
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	9,111,072
	前年度控除額 (県事務経費) 還付分	174,173
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	275,400

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		9,560,645
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	5,364,255
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	4,196,390
	返礼品等の調達に係る費用	2,619,568
	返礼品等の送付に係る費用	704,446
	広報に係る費用	326,500
	事務に係る費用	545,876

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所 (ホームページURL等)

https://aarijapan.gr.jp/about/#s_3